

令和5年村上市議会第1回定例会
一般質問通告書

質問順

2月27日(月) 午前10時開会	1	渡辺 昌	1ページ
	2	富樫 雅男	3ページ
	3	高田 晃	5ページ
	4	稲葉 久美子	6ページ
	5	鈴木 一之	8ページ
2月28日(火) 午前10時開会	6	上村 正朗	10ページ
	7	鈴木 好彦	11ページ
	8	鈴木 いせ子	13ページ
	9	山田 勉	14ページ
	10	菅井 晋一	16ページ

質問順	1
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（11番） 渡 辺 昌

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 大雪や寒波による被害と今後の対策について	<p>今冬は、12月の記録的な大雪や1月の寒波により、市民生活に多大な影響が発生したことから、以下の点について伺います。</p> <p>① 12月の大雪では、湿った重い雪による倒木のため、道路の通行止めや停電が広範囲・長時間にわたって発生しました。近年の気候変動により今後も同様の被害が想定されることから、その対策が必要と考えますが、所見を伺います。</p> <p>② 1月の寒波の際には、水道配水量の増加により、市民に節水が呼びかけられました。他の自治体に関する報道では、空き家の漏水の問題を取り上げていましたが、本市における空き家の漏水の状況や、今後の対策について伺います。</p> <p>③ 蒲萄スキー場のある蒲萄集落は積雪の多い所ですが、以前より、集落内を通る国道7号の歩道や路肩の除雪が十分でなく、住民の方が車道を歩く様子が頻繁に見られます。このような危険な状況について、市ではどのように認識されているのか、また、国に対策を強く働きかけているのか伺います。</p>	市 長
2 道の駅「朝日」の拡充基本計画について	<p>先般、経済建設常任委員会では、道の駅「朝日」のリニューアルについての所管事務調査を行いました。そこでの質疑応答を踏まえ、以下の点について伺います。</p> <p>① 平成30年3月策定の拡充基本計画では、既存の物産会館と食堂の建物を解体するとなっていました。令和3年3月の計画の修正では、それらの建物を残し、民間活力の導入により利用すること</p>	市 長

<p>3 窓口業務改善の取組について</p>	<p>に変更されました。変更となった理由についてお聞かせください。</p> <p>② 新たなメイン施設の食堂について、当初の計画から、大型観光バスによる団体客や地域住民の会合等に対応するため、大広間（又はフロア）を整備するようになっていましたが、現在進められている基本設計では、大広間は設けない方向であるとの説明でした。現状において、地域住民の交流の場として利用頻度が高く、また、地域にとっても貴重な施設であると判断されるにもかかわらず、計画が変更となった理由をお聞かせください。</p> <p>③ 魅力ある道の駅のエリアとするためには、新たなメイン施設だけでなく、民間活力の導入により利用していくとしている既存施設の在り方も大変重要であると考えます。しかし、老朽化した施設であることや、冬期間の集客や維持管理などの面から、安定した運営ができるのか大いに懸念されますが、所見を伺います。</p> <p>④ 高速道路に直結する道の駅を構成する施設として、「憩いの場」となる温泉施設は重要です。日沿道開通の時期を勘案し、老朽化したまほろば温泉の改修を図るべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>見附市では今年1月より、様々な手続きや書類の交付を申請する際の申請書記入を廃止し、窓口の職員が市民と対話をしながら、必要な情報をシステムに入力する「書かない窓口」と称した新サービスが県内で初めて導入されていますが、本市におけるデジタルを活用した窓口業務改善の取組の状況や、総合窓口の必要性についてのお考えを伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 3 番） 富 樫 雅 男

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 住宅リフォームに関する助成制度について	<p>「住宅リフォーム事業補助金」制度は、市民の生活環境の向上、地域経済の活性化を目的とした施策です。</p> <p>国においても各省庁が連携して家庭部門の省エネ化を推進する取組を行っています。</p> <p>この取組は最近のエネルギー価格高騰対策にも資するものであり、市の対応について伺います。</p> <p>① 住宅リフォーム事業補助金について、過去3年間の状況と課題を伺います。</p> <p>② 市民にとって、国の住宅の省エネ化推進制度も非常に有益と考えるので、市民への周知とともに、関連する市内業界団体と連携した取組が望まれますが、市長のお考えを伺います。</p>	市 長
2 婚姻数増加のための取組について	<p>社会的に少子化対策、子育て支援は大きな課題となっており、市でもこれまで子育て支援のための諸施策に注力しています。</p> <p>2020年の国勢調査では、50歳時の未婚率が男性で約28%、女性は約18%と発表されています。</p> <p>婚姻数の減少は少子化に直結する問題ですので以下について伺います。</p> <p>① 令和3年度から実施している「結婚新生活支援」制度の状況と課題について伺います。</p> <p>② 結婚したい方を市としてサポートする取組について、市長のお考えを伺います。</p>	市 長
3 災害時の空き家対策について	<p>昨年8月の豪雨災害で被災した住宅については、災害救助法及び被災者生活再建支援法に基づいて、被災の状況に応じた公的支援が、被災された方々の</p>	市 長

	<p>大きな力になりました。</p> <p>一方、一人暮らしの高齢者で介護施設等に入所している場合は、居住の実態がないことから被災した住宅への公的支援が受けられません。</p> <p>しかし、今後も介護施設等に入所することで空き家になるケースの増加が想定されることから、今後の対応についての検討が必要と考えます。そこで以下について伺います。</p> <p>① 昨年の豪雨災害で、空き家の理由で罹災証明を申請できなかった軒数を伺います。</p> <p>② 災害時のこのような空き家に関わる支援制度については、県、国とも協議が必要と考えますが、市長のお考えを伺います。</p>	
--	--	--

[メモ]

質問順	3
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 4 番） 高 田 晃

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 中学生の望ましいスポーツ環境の整備について	<p>少子化による部活動の維持が困難になっていることや教員の長時間労働を解消することを目的に、全国の公立中学校において部活動の地域移行への取組が行われてきました。</p> <p>本市においても協議会を設置して準備が進められてきたところですが、休日の部活動を段階的に地域へ移行する「改革推進期間」を目前に控え、中学校部活動の地域活動移行に向けた取組について、次の点をお伺いします。</p> <p>① 移行期間の部活動はどのような形態やシステムになるのか。また、活動場所や移動手段等について伺います。</p> <p>② 受け皿となる団体と指導者確保の現状について伺います。</p> <p>③ 地域移行に対して、運営主体や地域クラブ活動団体、PTAと学校（教育委員会）との共通理解について伺います。</p> <p>④ 地域クラブ活動の運営費や指導対価に対する支援について、また新たに必要となる会費や活動費用など、家計負担への支援策について伺います。</p> <p>⑤ 地域クラブ活動における部活動の教育的意義の継承について伺います。</p> <p>⑥ 部活動の地域移行が完全実施された場合、学校の関わり方について伺います。</p>	教育長
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 9 番） 稲 葉 久美子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 少子化対策について	<p>少子化対策は大きな課題であり、新潟県では子育て支援強化のため、子どもの入園、入学時に給付金を支給できるように基金創設を考えているとのこと。そこで以下について伺います。</p> <p>① 市が取り組む少子化対策のうち、特に重点を置いている事業を伺います。</p> <p>② 結婚に伴う新生活を支援する「結婚新生活支援補助金」がありますが、令和3年度及び令和4年度の予算額は360万円で、令和5年度については300万円となっています。令和3年度からの事業ですが、実績を伺います。</p> <p>③ 結婚新生活支援補助金は、所得制限や年齢要件が設けられていますが、市内において結婚し、生活しようとしているのであれば、所得制限等は撤廃し、結婚祝い金として支給してはいかがですか。</p> <p>④ 安心して子どもを育てるために、高校卒業までの学費を全額公費負担とする必要があると考えますが、見解を伺います。</p>	市 長 教 育 長
2 奨学金制度について	<p>日本学生支援機構の「令和2年度学生生活調査」によると、奨学金を受給している大学生は49.6%と2人に1人が利用している状況とのこと。</p> <p>学生は高い学費と卒業後の奨学金の返済に困っていますので、国に対して大学の学費減額を働きかけ、市としても給付型の奨学金制度を創設する必要があるのではないのでしょうか。返済の心配がなく学業に専念できる対策が必要だと考えますが、見解を伺います。</p>	教 育 長

<p>3 就学援助制度について</p>	<p>① 昨年度から小中学生全世帯に申請書を配付し、全世帯から申請の意向を提出してもらっていますが、これにより、就学援助の対象世帯数等にどのような影響があったか伺います。</p> <p>② 物価高騰の影響は全世帯に影響していると思いますが、就学援助の支給額は引き上げられていますか。</p>	<p>教 育 長</p>
---------------------	---	--------------

[メ モ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（10番）鈴木一之

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 子どもの安全対策と子育て支援の環境整備について	<p>① 静岡県牧之原市で発生した送迎バスでの園児置き取り死亡事故の受け止めと、市の取組について伺います。</p> <p>② 福祉施設及び学校等に対し、送迎用バスの安全装置や登園管理システムを活用した子ども見守りサービス（GPS等）の導入について伺います。</p> <p>③ あらかわ保育園と保内学童保育所は、豪雨災害により甚大な被害を受けましたが、その復旧工事の進捗状況と再開時期について伺います。</p> <p>④ 復旧工事に伴い、あらかわ保育園では分散保育を実施していますが、児童、保護者及び職員からの意見や要望等はありませんでしたか。また、現状と課題について伺います。</p> <p>⑤ 児童虐待防止の観点から、保育の安全安心の面で、児童に接する職員の労働環境の整備が重要であると思いますが、課題について伺います。</p> <p>⑥ 保育園の老朽化に伴い、園の統廃合による建設に向けて民間活力の導入を図る取組等の課題について伺います。</p>	市 長 教 育 長
2 障がい者の就労支援と雇用促進について	<p>① 障がい者就労施設からの物品及び役務の調達額の増加策と現況について伺います。</p> <p>② 障がい者に対する理解が進んでいない印象が強く、理解促進を図る活動を定期的に実施する必要があると考えます。そのことによりアプローチする対象者を変化させながら、行政、民間企業、特別支援学校、福祉事業所など関係機関が発展的な対策をしていかなければ障がい者支援が進展していかないと思います。障がい者の雇用促進に向</p>	市 長

<p>3 本市における国県の出先機関について</p>	<p>けた具体的方針を伺います。</p> <p>現在、国県の出先機関の庁舎も老朽化等が進行していると推察されます。また、行政手続きのオンライン化が進展すれば、規模の縮小や新発田市内などへの機能集約がなされる可能性があります。</p> <p>旧村上総合病院跡地の行政機能としての活用が注目されており、次の点について伺います。</p> <p>① 具体的に国や県に、旧村上総合病院跡地への移転を要望する考えがあるか伺います。</p> <p>② 国や県の出先機関の庁舎の老朽化等も考慮し、早急に跡地の活用計画を策定しなければならないと思いますが、計画決定の予定時期はいつか伺います。</p> <p>③ 旧村上総合病院跡地への国や県の出先機関の移転が難しい場合でも、村上市内での庁舎新築等を要望すべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	<p>市長</p>
----------------------------	---	-----------

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 1 番） 上 村 正 朗

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 村上駅周辺大規模跡地の利活用策について	旧村上総合病院跡地など村上駅周辺の大規模な跡地の利活用策について、現時点における考えをお聞かせください。	市 長
2 旧香藝の郷の利活用策について	旧香藝の郷の利活用策について、現時点における考えをお聞かせください。	市 長
3 障がい関連3計画の策定について	<p>令和5年度において、「第4次村上市障がい者計画」、「第7期村上市障がい福祉計画」及び「第3期村上市障がい児福祉計画」の策定が行われますが、障がい児者に対する充実した支援体制の確立に向けた計画の策定が必要と考えます。そこで、以下について伺います。</p> <p>① 計画策定委員会のメンバーに、「障がいのある子の保護者」や「児童の発達支援の関係者」を加えるべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 計画の名称を「子どもの未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）」のような、市民が親しみを持てる名称にすべきと考えますが、見解を伺います。</p>	市 長

[メ モ]

質問順	7
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 8 番） 鈴木好彦

質問事項	質問要旨	答弁者
1 道の駅朝日について	<p>道の駅朝日の施設の一つである、みどりの里食堂は近隣に食事ができる他の施設が少ないというだけではない魅力で、お昼時は並んで待たなければならないほどの盛況を呈している施設です。リニューアル後の食堂が、今と同様の魅力を発揮して繁盛を維持してもらえよう、大いに期待するものであります。そこで以下について伺います。</p> <p>① みどりの里食堂は単に食堂という機能だけではない重要な機能を有しています。かつては、朝日地区でも各所に点在していた、集まって飲食可能な施設は、今現在、常設としてはみどりの里食堂のみとなりました。朝日地区とは限りませんが、各種団体や市民活動組織の会議や懇親会場として、また有志の集まりの親睦会場として重要な役割を担っているものです。</p> <p>このように、地域住民はもとより村上市民の活動に欠くことのできないぐらいに寄与してきたみどりの里食堂の機能をどのように捉え、道の駅朝日全体をプロデュースする立場の村上市は、リニューアル後の位置付けをどのように考えどのように展開するのか伺います。</p> <p>② 道の駅朝日の施設であったまたぎの家ですが、焼失してからしばらく経ちます。市有財産を消失させたという事実の結末はどのように方向付けられたのか伺います。</p> <p>③ またぎの家の今後ですが、前回の定例会で同僚議員が、またぎの家こそみどりの里、そして道の駅朝日のランドマークとして拡充整備すべきではないかと訴え、市長答弁で、プロデュース業務の</p>	市長

	<p>中で検討しており、本市が目指す持続可能な社会の実現に向けたメッセージが、非常に重要だ。そこを中心に検討しているとのことでした。しかしそれ以前に、またぎの家が存在した理由、目的を明らかにすることから始めるべきと考えますので、その理由、目的を伺います。</p>	
<p>2 災害対策の取組について</p>	<p>災害対策の取組についてというテーマは昨年の第1回定例会でも取り上げ、自然災害の脅威に怯える地域があるが、将来的に流線を変えて根本的な対策が取れないかとの質問に、現地の確認をしながら県にしっかりと要望しているとの答弁、さらには災害から市民の命を守るためタイムラインに沿って早め早めの対応を発しているとのことでした。この時、説明のために取り上げた川は先の豪雨時、大きな被害を出すまでには至りませんでした。脅威を感じる出水が見られました。さらには、平成30年第3回定例会の一般質問で川部赤坂川の危険性を取り上げ、根本的な問題解決について喚起したところですが、今回の豪雨で予想をはるかに超える被災状況を目の当たりにすることとなりました。</p> <p>これらのことを教訓として、村上市では住民サービスをきめ細かく行うため、様々な基本計画や事業計画が立案されています。災害の脅威から市民の命と財産を守る市の姿勢を明確にするため、危険箇所ごとに基本計画や事業計画を作成する考えはありますか。</p>	<p>市長</p>
<p>3 支所緊急対応経費について</p>	<p>支所緊急対応経費が令和4年度から支所当たり50万円が500万円に増額されています。地域の窓口として支所への期待が多い中、一歩前進と評価するものです。そこで増額に至る経緯と増額を決断した理由、さらには増額によるねらいを伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（13番） 鈴木 いせ子

質問事項	質問要旨	答弁者
1 令和4年産の稲作について	<p>令和4年産の水稻は8月3日からの豪雨災害により、品質、数量共に大きな打撃を受けました。</p> <p>天候不順によって、登熟期の日照不足が大きく作柄に影響したものと思いますが、以下について伺います。</p> <p>① 本年は水害の影響はあると思いますが、コシヒカリの1等米比率は魚沼産で83.8%、岩船産は64.9%です。この差をどのようにお考えか伺います。</p> <p>② 規格外のコシヒカリについても、新発田市が3,930kg、佐渡市は18,600kg、村上市については21,870kgです。この数量をどのようにお考えか伺います。</p> <p>③ これらの解決策の一つとして、肥料と農薬を統一したほうが良いと思いますが、お考えを伺います。</p>	市長
2 心配ごと相談所について	<p>社会福祉協議会が実施している「心配ごと相談」は、村上市役所本庁及び各支所を会場に行われています。市民が生活の中で抱える不安や悩みを相談できる窓口の一つですので、以下について伺います。</p> <p>① 相談者は毎月どのくらいいますか。</p> <p>② 相談者にはどのように対応し、解決に結びつけていますか。</p>	市長
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（21番）山田 勉

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 荒川地区坂町周辺の水害対策について	<p>昨年11月26日に坂町ふれあいセンターで荒川地区坂町周辺の河川の改良復旧についての住民説明会があり、約30人の住民が参加しました。また、本年2月1日には、坂町地区役員への説明会があり、県の担当者からは、春木山大沢川沿いに二線堤を設置することや輪中堤を整備すること。また、烏川については県道の大橋から大沢川合流点までを新たに整備区間とするとのことでしたが、参加した住民からは「上流をいくら整備しても、羽越本線のところが狭いままでは同じことになる」という強い不満の意見が多く出されました。荒川地区住民の命を守るため、村上市は県と協力し、烏川に架かる鉄道橋の改修に取り組む考えはありませんか。</p>	市 長
2 お幕場茶会について	<p>神林地区のお幕場森林公園で開催される茶会は「野点の茶会」として全国でも珍しい行事です。昔、村上藩主や家臣らがアカマツ林に幕を張り、野点を楽しんだと伝えられています。</p> <p>お幕場の松林は「日本の白砂青松百選」に選ばれた景勝地であり、お幕場茶会には毎年2千人前後が訪れる春の優雅なイベントです。観光資源としてもっと村上市も力を入れるべきではないでしょうか。そこで以下について伺います。</p> <p>① 主催は「お幕場茶会実行委員会」ですが、村上市からは助成金は出ていますか。</p> <p>② 会場の手入れや整備に、村上市として協力していますか。</p> <p>③ 市外からも多くの人に参加するため、駐車場の問題や送迎バスの問題などがあると思いますが、</p>	市 長

<p>3 伝統芸能の継承について</p>	<p>実行委員会に対し、村上市としてどのような協力をしていますか。</p> <p>④ 「城下町村上」や「北限の茶処」として村上市のイメージアップにもつながります。市も観光協会と協力し、全国にもっとPRをしてはいかがでしょうか。</p> <p>1月29日に村上市民ふれあいセンターで「村上の七夕祭り～獅子舞の宴～」が開催されました。約50店舗が参加し、約2千人の観客が訪れて大盛況でした。伝統芸能を大事にし、次の世代に伝えていくことは大切なことです。そこで以下について伺います。</p> <p>① 各地の伝統芸能、民謡や舞踊などを幅広く発表してもらうことは、村上市の一体感と地域の活性化にもつながるため、「村上市芸能の祭典」を村上市が主催してはいかがでしょうか。</p> <p>② 予算については、民間からの寄附や県の文化支援事業の補助を活用してはいかがでしょうか。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 2 番） 菅 井 晋 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 旧村上総合病院跡地 利用について	<p>旧村上総合病院の解体工事は、令和6年7月までの工期で、解体後については村上市で取得する方向で基本協定があるとのことですが、厚生連との交渉の進捗状況、取得後の利用計画について次のとおり伺います。</p> <p>① 厚生連との用地取得の交渉は、どこまで進んでいるか伺います。</p> <p>② 解体工事費用はどれくらいか。また土壌の入れ替え工事も含まれているか伺います。</p> <p>③ 大規模跡地利活用検討業務委託の予算が計上されていますが、取得後の利用計画はどのような手順で策定されるのか伺います。</p>	市 長
2 各町内・集落からの要望事業に対する予算措置について	<p>区長各位との会話の中で、「市に対する集落要望事業は何年経っても予算が付かない」という声があります。もちろん要望が全て満足できるよう対応することは不可能であります。各支所には緊急対応経費が500万円予算計上されており、突発的な道路修繕などに充てられているようですが、緊急対応経費を増額し、各町内・集落からの要望事業は、支所で解決できるような仕組みを構築できないか、次のとおり伺います。</p> <p>① 市全体の町内・集落要望事業の総額と、それに対する予算措置は、どれくらいあるか伺います。</p> <p>② 各町内・集落からの要望事業は、支所で区長会と協議し、予算化できるような仕組みを構築できないか伺います。</p>	市 長

<p>3 財政調整基金の基金 残高の見通しについて</p>	<p>昨年12月に示された令和5年度から9年度までの「村上市財政収支見通し」によれば、財政調整基金の残高は令和6年度に1億3千万円となり、令和7年度以降、収支は赤字となる見通しです。収支不足（赤字）の原因と今後の財政運営手法について伺います。</p>	<p>市長</p>
-----------------------------------	---	-----------

[メモ]